

陽春だより

すべては生徒のために 笑顔と感謝あふれる学校

第 7 号 令和3年11月15日(月)

川口市立芝西中学校陽春分校
〒332-0034
川口市並木1-26-1
TEL 048-497-1893
FAX 048-497-3981



「小さな気配りが大きな安心に」

教頭 佐藤 幸夫

私の家の近所に、車いすに乗っている足の不自由な方が住んでいます。普段、顔を見れば挨拶をする程度の付き合いの方でした。その方には、小学生と幼稚園の元気な男の子がいたので、私が夏にカブトムシをつかまえてあげたことがありました。その方から、「車いすだと、なかなか虫採りもいけないので、子どもがとても喜んでいた」という話を聞くことがあり、その家族と少しずつ近所付き合いが出来てきたところでした。

先日、1か月ほどその方の姿が見えず、家族と、どうしたのかなと話をしていました。しばらくすると、その方がうちにいらっやって「いただいたお花ですが、もらっていただけますか」と、たくさんのお花を抱えてきました。その方は、今年のパラリンピックで銀メダルを獲得した日本代表選手だったのです。姿が見えなかった時期がちょうどオリンピック、パラリンピックの期間だったので、関係者の方なのかなとは思っていたのですが、まさかメダリストだったとは、話を聞いてとても驚きました。

話の中で、「しばらく姿が見えなくてどうしたのかな、と家族で話をしていたのですよ」「素晴らしいですね」と声をかけたり、お子さんに「お父さんは、すごい人だね」と伝えたりすると、お子さんは「へえー、そうなの?」という反応で、父親の達成した偉業には無関心の様子でした。お子さんにとっては、休みの日によく遊んでくれるごく普通の優しいお父さんなのでしょう。

その方は、「自分が留守をしていたことを気にしてくれる人がいたことがとてもうれしいです。とてもありがたいことです。ありがとうございます。」と答えてくれました。

私は、銀メダルを獲得したこともすごいと思いましたが、「どうしたのかな?」と家族と話していたことに感謝してくれたこと、メダリストになったことを表に出さず、いつもと同じように車いすを乗りながら子供たちと明るく接している姿がとてもすばらしく、もっと応援したくなる気持ちになりました。

世間には、不自由な思いをしている人がたくさんいます。「少しでも力になってあげたい」という気持ちを持ち、声をかけるなど、行動を起こすことが大切だと思います。また、自分が困っているときに、優しく接してくれる人がいたら、素直に感謝の気持ちを伝えることで、お互いが温かい気持ちになり、素晴らしい関係をつくることにつながっていくと思います。今回のことで、改めてそう感じました。

11月15日～の予定

15日(月)～19日(金) 学校公開日

22日(月) 水上自然教室(1年生は休み)

24日(水)～12月17日(金) 入学希望者面接

12月の予定

17日(金) プラネタリウム見学

20日(月)～22日(水) 2者面談

23日(木) 終業式

たいいく 体育で「ペタンク」をしています!

「ペタンク」というスポーツを知っていますか? フランス発祥の球技で、ボールを投げあい、「ビュット」という目標球に、相手よりも近づけることで得点を競うスポーツです。

老若男女問わず、対等に競技を行うことができるため、いろいろな世代がいる陽春分校にはピッタリです。

最後まで逆転のチャンスがあったり、テクニックが磨かれていたり、奥深さがあります。

応援したり、励ましたり、和気あいあいとスポーツを楽しんでいます。

ようしゅん 陽春ほっとな言葉

3年生が特活の授業で「優しい言葉」「ホッとさせる言葉」をそれぞれグループで考えました。

それを、自分の出身の国の言語で書いて、クローバーの形にしました。



かいだん
階段に
ぶらさげて
あって、誰でも
みることが
できます。

